

マーケットの動き（2025年8月18日～8月22日）

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

週初は、FRB（米国連邦準備制度理事会）による利下げ期待などから、TOPIX、日経平均株価は史上最高値を更新しました。その後は、米ハイテク株の下落や、利益確定の売りなどで軟調に推移しました。週末にかけては、22日に控えたパウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の講演への様子見姿勢などから株価は下落しました。

投資環境見通し（2025年8月）

国内株式相場は短期的な見直し買いが入りやすい

企業業績については、日米関税交渉の合意を受けて生産・投資活動が好転するとみられることから、改善に向かうとみています。

国内株式相場は、日米関税交渉が合意に達したことが、これまで懸念されていた輸出関連銘柄の株価動向に対してプラスとみられることに加え、海外投資家からの資金流入や自社株買いも支援材料となり、短期的な見直し買いの動きが続くとみています。ただし、米国景気の減速には留意する必要がありますとみています。参議院選挙を通過し、景気・物価対策が強化されると見込まれる中、当面はその内容と与野党協議のスピード感が注目されます。

	8月22日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	3,100.87	▲0.22%	9.33%	13.31%	16.08%
日経平均株価	42,633.29	▲1.72%	7.19%	9.94%	11.57%

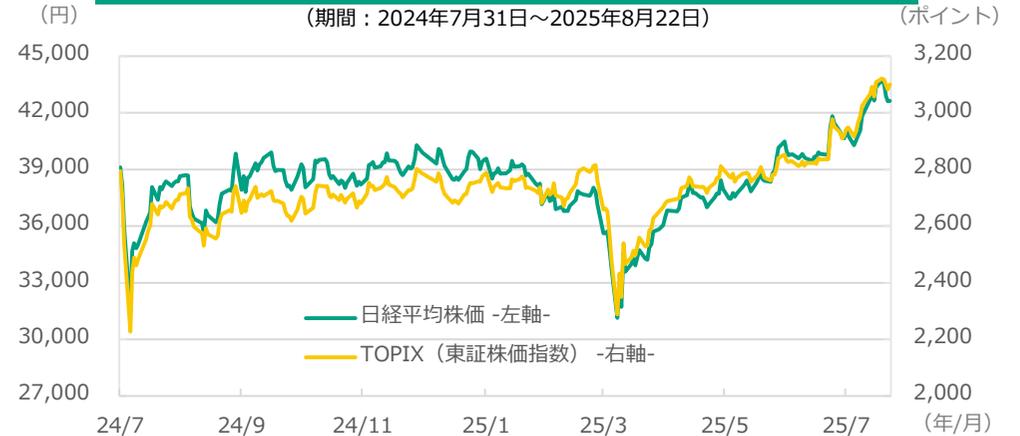
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

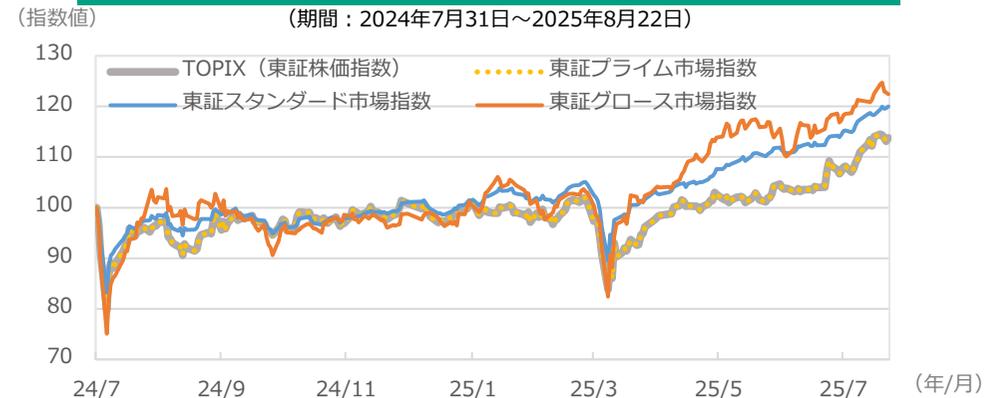
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202508_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目録見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



東証市場別指数の推移



※2024年7月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成